

AWS Certified Cloud  
Practitioner 認定試験の勉強  
方法

# 目次

- 本書の目的
- ステップ1: AWSの基本的な理解
- ステップ2: 学習教材の選択
- ステップ3: 定期的な学習スケジュールの作成
- ステップ4: 実践的な学習
- ステップ5: モックテストの活用
- ステップ6: 復習と弱点の克服
- ステップ7: 試験の申し込みと受験
- 本書の結論

# 本書の目的

- AWS Certified Cloud Practitioner 認定試験の勉強方法を時系列に教える

# ステップ1: AWSの基本的な理解

- AWSの基本的な概念とサービスについて理解を深めます。AWSの公式ウェブサイトや関連書籍を読むことで、クラウドコンピューティングとAWSの基本を学びます。

## ステップ2: 学習教材の選択

- AWSが提供する公式の学習ガイドやオンラインコースを利用します。これらの教材は試験の内容を網羅しており、効率的な学習が可能です。

# ステップ3: 定期的な学習スケジュールの作成

- 定期的な学習スケジュールを作成し、一貫した学習を心掛けます。毎日一定の時間を設けて学習することで、知識を定着させます。

## ステップ4: 実践的な学習

- AWSの無料枠を利用して、実際にサービスを操作します。実践的な学習を通じて、理論的な知識だけでなく、実際の操作感やトラブルシューティングの経験を得ます。

# ステップ5: モックテストの活用

- AWSが提供する模擬試験を利用します。模擬試験を受けることで、試験の形式や問題の傾向を把握し、自分の弱点を見つけることができます。

## ステップ6: 復習と弱点の克服

- 模擬試験の結果をもとに、弱点を特定し、それらの領域を重点的に学習します。また、全体的な復習も行い、知識を定着させます。

# ステップ7: 試験の申し込みと受験

- 最後に、AWSの公式ウェブサイトから試験を申し込み、受験します。試験はオンラインでも受けることができます。

# 本書の結論

- これらのステップを順に進めることで、効率的に試験の準備ができます